



高齢期を楽しみ 有意義な人生を送ろう



紫陽花 (雨宮和雄さんの作品)

目次

- 総会案内……………①
- 総会議案……………②～⑤
2009年度経過報告／同会計報告／同会計監査報告
／2010年度活動方針案／同予算案／映画随想 (田中一男さん)
- 会員紹介・三浦泰昌さん……………⑥
- 趣味の会／予告……………⑦
- こだま俳壇／北海道スキー (宮下 光さん)／戦中体験記『つたえたい想い』紹介……………⑧

神奈川県
職 労 連

退職者こだま会第26回定期総会のご案内

総 会

と き▶ 6月24日(木) 午後1時30分～4時
 ところ▶ 神奈川自治会館 7階701会議室
 ☎045-664-7500
 交 通▶ 桜木町又は横浜駅から、バスで「神奈川自治会館前」下車徒歩1分。地下鉄みなとみらい線「日本大通り駅」下車3番出口徒歩3分



懇 親 会



定期総会終了後、神奈川自治会館2階の『ラウンジはま風』で懇親会を開きます。戦中体験記『つたえたい想い』の出版記念レセプションも兼ねます。軽食をとりながら楽しいひとときを過ごしましょう。お誘いあわせのうえご参加を (会費2000円)

※会員の皆様へお願い…住所を変更された時は事務局へご一報下さい。

神奈川県職労連 退職者こだま会第26回定期総会議案

2009年度経過報告

I 一この1年をふりかえって

1、自公政権の退場と連立政権の誕生

昨年夏の総選挙で国民は、格差と貧困、長期の不況に「政治を変えたい」という思いが重なって、自公政権を退場させ、民主党を中心とした連立政権が誕生しました。

しかし、新政権は、「子ども手当」「高校授業料の無償化」等、一部を実現したものの、後期高齢者医療制度の廃止は先送りしました。労働者派遣法の改正にあたっては「常用型雇用労働者の派遣」や「登録型雇用労働者は専門26業務」を温存させる「骨抜き改正」。消費税増税、法人税減税の検討、沖縄普天基地の国外移転を決断できない、日米密約の事実認定の不徹底、鳩山首相・小沢幹事長などの「政治とカネ」に絡む疑惑など、これまでの自民党と少しも変わらないことが明らかになりました。

2、県民に冷たい松沢県政

松沢県政は来春、2期満了の改選を迎えます。知事は2010年度予算で「1250億円の財源不足」と

いい、「聖域なき見直し」を強調しています。しかし大企業向け「インベスト神奈川」の助成金を前年比2・1倍の52億円に増額する一方、社会福祉事業団への補助金を削減しながら障害者の保養施設「大文字荘」の耐震診断を口実に、耐震補強のため



の改築ではなく閉鎖に追い込み、また国の「高校授業料無償化」、生活保護世帯の私学授業料を実質無料にする施策では、生活保護世帯を除く年収250万円未満の世帯に対する学費補助を3万円減額するなど、犠牲の冷たい県政を進めています。

3、先送りされた「後期高齢者医療制度」の改正

2008年度から始まった後期高齢者医療制度は今年度、医療費の改定を迎えます。高齢者の窓口負担、入院時の食費・住居費負担などの増額、入院が90日を越えると医療機関の診療報酬が下がる仕組みを強化し、「医療難民」「介護難民」が生み出されました。

鳩山政権は後期高齢者医療制度の見直しを3年後に伸ばしながら、65歳へ差別医療を拡大する「新制度」を提案しています。

私たちは2月9日、「後期高齢者医療制度の即時廃止要請書」を民主・社民・国民新党・共産の各党に送りました。また同時期に結成された「後期高齢者医療制度即時廃止を求める神奈川県連絡会」の運動に合流し、高齢者の生活改善のとりくみを強めました。

4、県職員の戦中体験記『つたえた思い』を発行

昨年の総会で県職員の「戦中体験記録集」を作ることを決め、編纂委員会を立ち上げ7回開催。23人の会員から貴重な「体験記」が寄せられ、現役職員との座談会も行いました。「つたえたい思い―神奈川県職員の戦中体験を若い世代へ」として2010年6月に発行(500部・送料込み600円)しました。

II 趣味活動と会員の交流

会員の趣味や特技をいかし、楽しく交流を深めています。

○「秋の昇仙峡・山梨県立美術館等1泊旅行」(11月10日～11日)

○神奈川自治労連退職者会の「手づくり文化祭」(10月31日)に俳句、油絵、絵手紙、水彩画、写真、演芸、フラダンスなど、より充実した参加になりました。

○歴史教室 講義2回(9月・3月) 散策2回(6月・11月)

○楽しい俳句教室(毎月第3木曜日) 1月から第2木曜日に変更。山本つばみ先生から太田土男先生にバトンタッチ。参加者は18人に。

○食と文化を楽しむ会・薬膳料理1回(7月)

○囲碁同好会(毎月第1日曜日例会)

○楽しい料理教室Ⅱ 県職労連壮年部と共催(10月)

III 会員の加入状況と会の運営

1、会員を増やすとりくみ

会員の総数は2010年3月末現在1352人。今年度の加入者は44人。加入の働きかけは、県の退職者説明会5回(1月中旬～2月中旬)

2009(平成21)年度 一般会計収支決算書

(2009年4月1日~2010年3月31日)

(単位:円)

Table with 8 columns: 項目, 予算額, 決算額, 摘要, 項目, 予算額, 決算額, 摘要. It details income and expenses for the 2009 fiscal year.

と県職労各支部の退職者の慰労の集いで行いました。また、火災共済の更新手続きの際、加入資料を同封して加入を呼びかけています。2、会の運営

3、「こだま会報」の発行とホームページの充実
会員相互をつなぐ『こだま会報』は、年金、医療、介護、増税問題などの情報をはじめ趣味活動や高齢期運動のとりくみなどを企画し、計画どおり年4回発行しました。「字が大きくなって読みやすくなった」など

2009(平成21)年度 積立金会計収支決算書

(2009年4月1日~2010年3月31日)

(単位:円)

Table with 8 columns: 項目, 予算額, 決算額, 摘要, 項目, 予算額, 決算額, 摘要. It details the income and expenses for the 2009 fiscal year regarding the reserve fund.

会計監査報告

2010年4月19日

神奈川県職労連退職者こだま会

代表幹事 生方武羅夫 殿

会計監査 辻村 博 ㊦

会計監査 木村武子 ㊦

2010年4月19日、こだま会事務室において2009年度一般会計及び2009年度積立金会計について、それぞれの会計帳簿、収支証拠書類、預金通帳等の監査を実施したところ、適正に執行されていることを認めます。

好評です。「会員参加で豊かな情報」の方針は、広報委員会と皆さんの協力で前進しています。『会報』を補うためにホームページの充実に努力しています。4、高齢期運動への参加と共同のとりくみ
第23回日本高齢者大会(9月14日(16日・別府)に代表2人が参加。第5回「輝け高齢期かながわのつどい」(11月12日・藤沢市民会館小ホール)に代表3人が参加しました。
神奈川県職員九条の会の「平和の集い」(12月5日)では、経済同友会終身幹事の品川正治氏の話聞きました。全体で59人が参加し、会員も多数参加しました。また、会員の地元では、地域の「九条の会」の立ち

2010年度活動方針案
上げや世話役、事務局で多くの会員が活躍しています。
全国自治体退職者会連絡会には前年同様1人を、神奈川県自治労連退職者会には5人を役員として送り、総会をはじめ年間の活動に協力、参加しています。なお、全国自治体退職者会連絡会は毎年3月、厚生労働省と年金、介護保険、国民健康保険制度の改善要求で交渉をしています。

I 私たちをとりまく情勢

1、平和で安心できる社会へ
「政治を変えたい」との願いで昨年8月、歴史的な政権交代が実現したものの、その後の金権スキャンダルや相次ぐ選挙公約違反などで、国民の期待は裏切られました。
今年の4月からは、暮らしに係わる負担がズシリと重く国民にのしかかっています。後期高齢者医療制度の見直しは3年先に見送られ、21都道府県が保険料を引上げ、国民健康保険料の各地の値上げ、介護保険料の引上げ、さらに抜け穴だらけの労働者派遣法「改正(案)」、普天間基地「移転」問題、核密約問題、格差と貧困の拡大などで、政治不信はますます広がっています。
大企業中心、アメリカにもの言

えない鳩山政権に対し、願いがかなう政治はどうしたら実現できるか、私たちの要求と各政党の公約について考え、対話を広げ、6～7月に予定される参議院選挙で、政治を変え、チャンスをしていきたいでしょう。

一方、NPT(核拡散防止条約)再検討会議に参加する国連派遣行動に向けた活発な個人・団体の署名活動が各地でとりくまれました。戦時下最大の言論弾圧事件とされる「横浜事件」の実質無罪判決、堀越ビラ配布事件の逆転無罪判決や足利事件など冤罪事件の再審無罪確定など明るい局面もあります。

いま政府は、改憲手続き法に基づく国民投票法について、必要な政令の準備を進めています。消費税増税の導入なども検討されています。

平和で安心できる社会の実現のために、日本国憲法の改悪をゆるさない運動、生活向上のためのさまざま運動にとりくみましょう。私たちは政権を交代させた実績に確信を持ち、力を合わせて政治を一步前へ進めましょう。

2、「民営化」が進む県庁職場

神奈川県庁の職場では、指定管理者制度の導入などで自治体の民営化が進んでいます。職員に占める非正規職員の比率は年々ふえ、県自身が雇用破壊・賃金低下を作り出し、現

場では業務の継続性や信頼性が揺らいでいます。

この4月の人事異動では、本庁の局制で理事・参事監が新設されるなど、「意志決定の迅速化」に逆行する状況です。人員削減には「フルタイム再任用職員」で対応。仕事量は減らさずに、今年度は500人の削減を掲げています。労働センターの再編や福祉施設の1000人近い欠員、女性センターやフラワーセンターへの指定管理者制度の適用・研究機関の再編も検討されています。

職員には、「意欲と能力のある人材に道を開く」と管理職登用試験制度や目標による業務マネジメント制度が実施されます。それは、管理監督者になる一部職員の人材育成・処遇改善だけです。いま求められているのは全職員の意欲と能力を高め、「チームワークによる職場運営で組織の総合力」を高めることです。

来春は知事改選・統一地方選挙の年です。私たちの生活と暮らしを立て直すため、要求を高く掲げて県政、市町村政の転換をめざして運動していきます。

3、こだま会運動をつなぐ新会員

こだま会は毎年、40～50人の加入者を迎えています。長年、県政に携われ、経験を重ね、力を発揮されてきた人たちが「こだま会」の運動

を支えています。

会員の仲間づくりや交流の場をさらに多く設け、文化、趣味レクレーションなどの活動を活発にしましょう。俳句や歴史散歩、囲碁など、趣味を生かした活動や、反戦・平和を語り継ぐ戦中体験記『つたえたい想い』の普及など、創意工夫して、現役職員との交流も進めましょう。

へ

4、知恵と経験を生かし地域の運動

会員の経験と知恵を生かし、地域でのとりくみを進めましょう。

生活や暮らしを守るために、社会保障制度の充実に向けて、国民的な要求運動に連帯してとりくみましょう。県内の退職者の会や全国の自治労連退職者会連絡会と連携し、要求に基づく運動と組織の拡大を進めていきましょう。

II 活動の目標と計画(案)

1、活動の目標

- (1) 憲法の改悪に反対し、平和・人権・民主主義を守るため、「神奈川県職員九条の会」と連携し、憲法九条擁護の運動を進めます。
- (2) 会員が元気で、いきいきと参加できる趣味の会などの活動を充実させます。
- (3) 高齢者の安心と安全を守り、住

民の生活と権利を擁護するため、神奈川県職労連と協同して運動を進めます。

(4) 年金と介護保険を充実させるため、全国自治体退職者連絡会など要求が一致する団体と協力して、高齢期運動を推進します。

(5) 後期高齢者医療制度を直ちに廃止して、元の老人保健制度に戻させる運動を進めます。

(6) 年金生活者の生活を守り、ワーキング・プアをなくする運動を進めます。

2、活動の計画

(1) 神奈川県職員会の戦中体験記『つたえたい想い』を普及し、戦争体験を語り継ぎます。

(2) 『こだま会報』は、会員の心をつなぐ情報誌として、6月・8月・10月・1月に発行します。

(3) 趣味の会の活動を活発にするため、企画・立案・実行を担う「世話人」の発掘と育成にとりくみます。また、会報とホームページで「趣味の会」の活動内容や開催予定などの情報を発信して、広く会員の参加を呼びかけます。

① 俳句同好会(毎月第2木曜日)

② 囲碁同好会(毎月第1日曜日)

③ 歴史教室(講座2回・散策2回)

④ 食文化を楽しむ会・薬膳料理(夏・秋)

2010(平成22)年度一般会計収支予算(案)

(2010年4月1日~2011年3月31日)

(単位:円)

収 入			支 出		
項 目	予算額	摘 要	項 目	予算額	摘 要
会 費	240,500	3,000×79口 +3,500×1口	事 務 局 費	850,000	
終 身 会 費	875,000	25,000×35人	行 動 費	350,000	
県職労連交付金	685,000		広 報 費	1,250,000	「戦中体験記」印刷含
共 済 助 成 費	1,150,000		総 会 費	450,000	
雑 収 入	195,724		会 議 費	450,000	
積立金取崩し	550,000		通 信 費	250,000	
寄 付 金	0		弔 慰 金	100,000	
前年度繰越金	1,028,776		負 担 金	50,000	神奈川県自治労連退職者連絡会
			積 立 金	875,000	積立金会計へ繰り出し
			予 備 費	100,000	
合 計	4,725,000		合 計	4,725,000	

- ⑤ 楽しい料理教室(県職労壮年部と共催)
- ⑥ 援農体験・農業を楽しむ会
- (4) 健康講座やお花見会、みかん狩りの計画を立てます。
- (5) 有利で安心な火災共済・自動車保険・がん保険などの福利厚生事業を実施します。
- (6) 法律・年金・税金・介護保険・成年後見制度・住宅などで困った

- ときに、信頼のできる専門家を紹介します。
- (7) 恒例の神奈川県自治労連退職者会の「手づくり文化祭」に参加し、出演・作品の展示を行います。
- (8) こだま会事務局は、引き続き毎週火曜日(祝祭日などの休日を除く)の午前10時から午後4時まで開きます。

2009(平成21)年度積立金会計収支決算書

(2009年4月1日~2010年3月31日)

(単位:円)

収 入			支 出		
項 目	予算額	摘 要	項 目	予算額	摘 要
前年度繰越金	15,448,000		本年度支出	550,000	
本年度収入	892,000				
内 積立金	875,000				
内 利息	17,000		次年度繰越金	15,790,000	
合 計	16,340,000		合 計	16,340,000	

映画随想 ③ 戦争と映画

明治43年に生まれ、平成10年に逝去した黒澤明。生誕百年を迎えた今年には、様々な記念事業が企画され、関連書籍の出版も続いている。世界の映画人に多大な影響を与え支持されたクロサワ映画を、DVDではなくスクリーンで鑑賞できる今年には実に楽しみな年となる。

黒澤映画の魅力

田中一男

黒澤明は処女作『姿三四郎』(昭和18年)から遺作『まあだだよ』(平成5年)まで30本の映画を発表した。監督としては33歳から88歳まで55年間の活動期間である。黒澤映画の特色は、人間はどう生きるべきかを描き続けたことに尽きるのではないだろうか。『羅生門』『生きる』『七人の侍』を黒澤映画の三大傑作と人は呼ぶが、『わが青春に悔いなし』『素晴らしき日曜日』『酔いどれ天使』『生きものの記録』にもそのメッセージを観ることが出来る。

『生きる』(昭和27年)は黒澤明42歳の時の映画だ。癌により余命6ヶ月となった初老の市民課長は残された時間をいかに生きたか、という物語である。黒澤は演出前記として「僕は時々、ふっと自分が死ぬ場合のこ

とを考える。するとこれではとても死にきれないと思つて、居ても立ってもいられなくなる。もつと生きているうちにしなければならぬことがある。僕はまだ少ししか生きていない」と記している。人間が「生きる」ということは、という壮大なテーマで撮られたこの作品は、多くの観客に深い感銘を与えた。終戦から7年、まだまだ混乱期であった日本人にとっては衝撃的な映画だった。勿論、半世紀以上を経た現在でも十分に鑑賞に耐える名画であるが。

黒澤映画のダイナミズムも傑出している。従来の時代劇観を一変させた『七人の侍』『蜘蛛巣城』『用心棒』は海外の映画監督に影響を与え、幾多のリメイク版が作られた。なかでも『天国と地獄』の特急こだまのシーンには白眉である。

また、核に対する問題意識も強く、『生きものの記録』『夢』『八月の狂詩曲』では反核、反戦の想いが観る者に迫る。ヒューマニスト黒澤の面目躍如たる作品群だ。

今秋、国立フィルムセンターで黒澤映画の大回顧上映が開催される。30本の監督作品と、シナリオとして提供した映画作品も上映予定で、これにより黒澤の全貌が明らかとなる。



故郷の豊後大野市での生活も9年目に入りましたが、竹林や畑の手入れ、花の名所と温泉巡り、さらに昔の悪童仲間との飲み会などで結構忙しく過ごしています。

家内は神奈川県育ちですが、人見知りしない性格が幸いして、周りの婦人方(多くは80歳以上)に味噌や漬物や饅頭作りの秘伝を教わり、野菜作りでも細かなアドバイスをうけて田舎暮らしを楽しんでいます。人付き合いをいとわぬことが田舎暮らしのポイントのようです。

しかし日本人男性の平均寿命は約80歳ですから、定年後約20年生きることになり、これを「余命」と呼ぶには長すぎます。東京農業大学在職中は学生に自分の人生を10年単位で考えるようにと話していましたが、今度は自分自身について考えねばならなくなりました。年金生活では組織の制約は何もなく、好きなことを好きなようにやれるので、残された20年を本当にやりたいことをやって少しでも社会に役立てればと考えました。

私は高校時代から日本史に興味を持っていましたが、教科書で学んだのは中央の歴史で、郷土の歴史についてはほとんど知らないことに気付

きました。そこで大分県(豊後)が最も輝いた大友宗麟時代のキリシタン史を調べることにして、手始めに点在する多数のキリシタン遺跡を訪ね歩きました。その結果、竹田市を中心とした旧岡藩内に重要な遺跡が多数存在することが分かり、このことから岡藩の祖・中川秀成はキリシ

キリシタンの遺跡を訪ね

著書 を 出版 三浦 泰昌さん



タンであったと推測しました。彼がキリシタンであれば、豊臣・徳川の執拗な弾

圧に耐え抜いて信仰を守ったことになり

ます。

調査を進める中から、秀成は、「自分はキリストを信じるが、信仰は人の心の問題であり、藩主といえども立ち入ることは許されぬ。藩に害をなさぬ限り全ての宗派を平等に遇する」との信念のもとに、家臣の団結と藩内の安定を保つたとの結論を得ました。これは現在の政教分離の思想に通じるもので

す。

最近ある政党の幹事長が、「仏教のほうがキリスト教よりも優れている」と発言して物議を醸しました。個人が何を信じるかは自由ですが、政治家としては決して口にしてはならない言葉です。

さらに、中川家歴代藩主の事績を記録した『中川家御年譜』は、秀吉や家康の禁教令だけでなく、朝鮮出兵など度重なる出兵命令、大阪城や江戸城の普請と市街地造成、さらに

寺院の建立など、息つくひまも無いほどの数多くの命令が記録されていました。このことは藩内の整備や産業振興、さらに家臣の報酬に充てるべき費用を権力者のために無条件、無制限に支出せざるを得なかつた中川家の苦悩を示す

ものです。

外様大名の財政を厳しい状態に置くことが秀吉・家康のねらいであり、大阪に続く江戸の繁栄は地方から絶え間なく流れ込む資金に支えられていたのであり、我が国の歴史を正しく捉えるには中央と地方の両面からの検討が不可欠であることを示しています。

さらに、徳川幕府が確立した中央集権の政治システムは、明治政府に引き継がれて現在に至っています。

民主主義国を自負する今でも地方分権が叫ばれていることがその証です。

そこで、これらの思いを小説に纏めて『高麗の牡丹・戦国のキリシタン大名三代記』のタイトルで芸文社から出版しました。ご批判頂ければ幸いです。

さて、いま地方は急速な高齢化と過疎化により消滅の時を迎えています。

地方の衰退は数百年に及ぶ中央集権の結果ですが、手をこまねいて郷土を消滅させるわけにはいきません。しかも、これまでのように政府や大企業に頼るのではなく、地方が保持しているポテンシャルを掘り起こし、活性化せねばなりません。タイムリミットはこの10年間だと思います。

県在職中に身につけた知識と技術が郷土の活性化に少しでも役立てばと思っています。



三浦さんの著書『高麗の牡丹』

楽しい趣味の会

茨城県の城下町

古河を歩く

歴史教室
散策

2月中旬まで続いた好天も2月末から崩れ始め、3月に入って荒れ模様が続く、当日の3月9日は朝から寒く小雨模様。参加者は11人。

朝8時30分横浜発、湘南新宿ラインは通勤時間帯で満員。10時少し前、古河駅着。古河市観光ボランティアガイド村田さん(女性)が、快く迎えてくれた。資料が配られ、説明のあと出発。歩きながら資料を見ると、観たい所が数多く、短時間では…と感じた。



「古河の歴史」

歴史は古く、市内各所から縄文前期の物と思われる土器や貝塚等が発

見されている。室町時代、五代鎌倉公方の足利成氏は、鎌倉からこの地に移り、古河公方を名乗る。以来、足利氏は130年余にわたってこの地を統治した。

明治4年の廃藩置県によって古河藩は廃止され古河県、そして印旛県、さらに千葉県に編入を経て、明治8年に茨城県へ編入となった。古河市は関東平野のほぼ中央に位置し全域概ね平坦、気候も温暖とのこと。

囲碁の勧め

現在、私は月1回のこだま会の囲碁同好会に参加しています。横浜駅近くの碁会所「有心」が会場です。青沼さんに誘われて参加してから6(7)年は経過したと思います。それ

が縁で、月1回は登さんが主催して、横須賀合庁で開催されている囲碁同好会に行くようになりました。毎週日曜日のNHK教育テレビの囲碁番組を勉強を兼ねて見ています。そして「囲碁大会」「ペア碁の囲碁大会」等のイベントに出場し、碁打ちの宿泊旅行に行ったりしています。

囲碁を通じて多くの方と知り合うことができました。棋力の強い人も弱い人も置き碁というハンデ戦があるので、同等に楽しむことができます。囲碁は退職後の生活の重要な部分を占め、かつ豊かにしてくれています。これからも色々な方と楽しく囲碁を打つことができれば幸いです。囲碁はボケ防止にも役立つと思いますので、興味の有る方は囲碁を始めることをお勧めします。(分銅良直)

予告!! 予告!! 予告!!

●食文化を楽しむ会
とき 7月8日(木)11時~15時
ところ 横浜市健康福祉センター・調理実習室。JR桜木町駅前
テーマ 夏をのりきる薬膳料理
先生 上野多恵子さん(会員)
会費 1800円
申込先 こだま会事務局
045(212)3179
亀井禎子045(332)4061
山本文子03(3728)2227

●囲碁同好会
月例会(毎月第1日曜)
7月4日 8月1日 会費 700円
ところ 囲碁サロン「有心」
横浜駅西口大洋ビル6階
申込先 こだま会事務局
045(212)3179
青沼慶祐045(782)7665

●楽しい俳句教室
月例会(毎月第2木曜日13時~)
6月10日 7月8日
ところ 神奈川自治会館(予定)
指導 太田土男先生(俳句協会)
会費 500円
申込先 こだま会事務局 045(212)3179
又は井村友彦0463(81)4493

●歴史教室(講義)
テーマ 常盤御前・義経ゆかりの京をみる
とき 6月14日(月)13時30分~15時30分
集合 神奈川自治会館
講師 中村猪一郎会員(参加費無料)
申込先 ☎&FAX 045(361)0112
佐藤喜治まで

●歴史教室(散策)
とき 9月13日(月)JR大磯駅10時
テーマ 大磯周辺を歩く(神社・仏閣探訪)
会費 500円(ガイド:中村猪一郎会員)
申込先 ☎&FAX 045(361)0112
佐藤喜治まで

●里山ハイキング(あやめの里と飯山観音)
とき 6月6日(日)10時「本厚木駅」改札口集合。雨天中止。
行程 本厚木(バス)→上千頭(徒歩30分)→あやめの里・久保橋(徒歩30分)→庫裡橋・飯山観音入口(徒歩30分)→飯山観音・長谷寺→本厚木駅
会費 バス代実費
連絡先 飯塚武弘 046(242)2224
山本文子03(3728)2227
当日緊急連絡先 飯塚武弘 080(5512)1328

こだま俳壇 (4月)

白粥にひとひらのせて初桜
三井 光子
木の芽風釣竿の先軽く押し
鳥海 敏雄
黄砂降る三千里の道一つ飛び
中村 桂子
地藏堂の闇に吸わるる桜かな
田中 一男
白線を花びらと子の駆けくらべ
小川 水草
花満ちて風にただよう雪やなぎ
島田多嘉子
葱坊主すくつと立ちしおかしさよ
石崎 博美
待つほどに想いは募る桜花
白井保次郎
空屋敷れんぎょうの花塀の外
松尾佐知子
薬ひよこえに後を托した千年木
高橋 和江
日だまりに子等の遊びて春近し
鈴木志げ子
密かに故郷の墓参桜咲く
湯川 勉
杖とめて桜の花をあをぎけり
白石 為康
満開のさくらの枝に目白押し
佐藤 安弘
水温む鯉口あけて泳ぎ来る
横川美代子
三回忌読経の内に桜咲く
坂 守
春日永四隅取られし碁打ちかな
木村 武子
雨降って道一杯の花筏
井村 友彦
鶯や鶯の動きに乱れなし
太田 土男

雪の北海道き のんびり・ゆったり

北海道スキーツアー

毎年恒例のこの旅行に、私は2度目の参加ですが、今年はスキーをせず雪の北海道を楽しみました。

まずは人気の旭山動物園。巨大プールに飛び込むホッキョクグマの水中ダイビングは圧巻でした。小雪のちらつくなかでのペンギンのお散歩



写真提供：野沢秀子さん

は、長蛇の列のお客さんの前を、胸を張り堂々と。でも、ヨチヨチと、時にパフォーマンスマンスも見せてくれました。

次は雪あそび。スノーモービルやバナナボーダなど、年甲斐もなくハッスルできました。

『北の国から』のロケ地めぐり

は、小鳥の声を聞きながら、雪の林のなかを歩いて、懐かしいセツトを見学。お天気もよく、青い空のもと、真っ白な雪をギョツ、ギョツと踏みしめて

大好きな温泉につかり、時にはオリンピック放送にも目を移し、のんびり、ゆったりの楽しいたびでした。

(宮下 光)

『つたえたい想い』

会員の戦中・戦後体験記『つたえたい想い』(A5版128頁)が6月下旬に完成します。

内容は、「私の戦中・戦後体験記」

「OBと現役職員との対話」「戦時下の

神奈川県職員の戦中体験を若い世代へ 発行

の神奈川県庁」で構成。「体験記」には23人が応募され、戦争の残酷さ、悲惨さ、平和の大切さを伝えていきます。

現役職員との対話では、今の県庁職場の実態と合わせて、平和への率直な想いが語られています。

戦時下の神奈川県庁の様子も必見です。

お求め、お問合せは、

こだま会事務局まで。送料込み600円でお届けいたします。

お求めはこだま会事務局まで



☆6月13日(日)まで平塚市美術館で開催。画家は長谷川光児会員のお父さんです。

長谷川 清二 展

※こだま会の事務局が上記へ移転しました。お立ち寄り下さい。